

令和元年度 第3回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：令和元年10月16日（水） 13：30～15：00

場 所：小山市健康医療介護総合支援センター 研修室2

出席者：塚田錦治委員長、渡邊カヨ子委員、岸野康之委員、片山照美委員

欠席者：佐田尚宏副委員長、高田淳子委員

【新小山市市民病院】

坂田普事務部長、阿部行博総務課長、関彰経理課長

【事務局（保健福祉部健康増進課地域医療推進室）】

浅見貴幸保健福祉部長、室橋正枝健康増進課長、雲井富雄地域医療推進室長、
関口律子医療推進係長、鈴木香奈子主査

会議経過：

1. 開会

発言者	内 容
2. 委員長あいさつ	
事務局	それでは、進行につきましては委員長よろしくお願いいたします。
3. 議事 （1）地方独立法人新小山市市民病院の中期目標期間見込評価実施要領の制定について （2）地方独立法人新小山市市民病院の中期目標期間見込評価実施要領の改正について	
塚田委員長	では、議事に入ります。議事の『（1）地方独立行政法人新小山市市民病院の中期目標期間見込評価実施要領の制定について』及び議事の『（2）地方独立行政法人新小山市市民病院の中期目標期間見込評価実施要領の改正について』 2議案とも関連がありますので、一括して事務局の説明を求めます。
事務局	事務局より説明させていただきます。 これから中期目標期間見込評価実施要領の制定及び中期目標期間見込評価実施要領の改正についてご検討いただく前に、評価の方法についてご検討いただきたいと存じます。 【参考】平成30年度業務実績評価における比較及び【参考】地方独立行政法人新小山市市民病院平成30年度業務実績に関する評価結果（総合評価）をご覧くださいと存じます。 これらの資料は大項目評価と中項目評価の違いをイメージしやすいように作ったものですので、実際に使用するものとは異なるものであることをあらかじめお断りさせていただきます。 まず、従来までの大項目評価ですと【参考】平成30年度業務実績評価における比較の「大項目評価の場合」欄となりますが、中項目評価の場合は「中項目評価の場合」の欄のように、より細かく評価することができます。 特に大項目の「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」のように小項目の数が多い場合には評価をまとめやすいのではないかと、また、市民の皆様にご覧いただくことを考えた場合に、より細かい項目の評価をお示ししたほうが、市民の皆様が理解しやすいのではないかと考えております。 一方で、【参考】地方独立行政法人新小山市市民病院平成30年度業務実績に関する

	<p>る評価結果（総合評価）のように文章でまとめる場合に、まとめ方にもよりますが、少し長くなることがデメリットとして予想されます。</p> <p>簡単な説明で恐縮に存じますが、従来までのように大項目評価とするのか、中項目評価に変更するのかについて、ご検討いただけますようお願いいたします。</p> <p>なお、要領案につきましては、大項目評価を内容とするもの及び中項目評価を内容とするもの双方を用意してございます。</p> <p>委員の皆様のご結論に応じて、どちらでも提案できるようにご用意してありますことを申し添えさせていただきます。</p>
委員長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>評価を従来どおり大項目で行うか、中項目評価に改めるかについて、委員の皆様のご意見をお願いします。</p>
岸野委員	<p>この会議は非常に忌憚りの無い話が出て、比較的、体をなしている会議だと思います。先ほど市民の皆様にお示しするというお話がありましたが、事務局が作成した資料や議事録については、現状、情報の公開に耐えられる、非常にリアリティーのあるものでありますので、公開というのは問題ないかと思います。目標をより細かくするというのは、点数の部分の話ですかね。点数で表に出てくるものがより細かくしたほうが良いということでしょうか。資料全体という意味では、現状かなりいいものが出ていると思います。</p>
事務局	<p>点数というよりも、点数が大きくなるとなると一つしか出ないというところかと思えます。議事録をご覧になっていただくとお分かりになるかと思いますが、大項目ですと、大きなまとまりとして四つの評価しか出ないのですが、もう少し小さいまとまりにして、それぞれ重要な項目について、各評価を活かしていったほうが良いのではと思ひまして、中項目での評価についてご提案させていただきました。</p> <p>ここで、本日ご欠席の佐田副委員長、高田委員からご意見をいただいておりますので、お伝え致します。まず佐田副委員長からは、今まで通り、大項目評価が良いのではとのご意見でした。また、高田委員からは、中項目評価が良いのではというご意見で相反するご意見ではございますが、高田委員から記述欄にご意見の記載があり、中項目評価のほうが、何が進んでいて、何が遅れているのかがわかりやすいとのご意見がありました。</p>
岸野委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p>
渡邊委員	<p>こういう資料を作る時には、目的とか対象者を考えてということになるかと思いますが、県の評価委員にもなっており、県は中項目ですが、私は、この会議は大項目でも非常にわかりやすいと思っております。ただ、専門家が見るには大項目でいいかと思いますが、市民目線ということを考えると中項目毎に点数を出すほうがいいのではないかと思います。</p>
片山委員	<p>市民が資料を見たときに、中身によってはとらえ方が違ってしまふ部分もあるので、市民目線でということを見ると中項目評価が良いのではと思ひます。公開については、病院内に資料としておくということでしょうか。</p>
事務局	<p>公開については、評価内容と議事録を小山市のホームページに掲載しております。</p>
渡邊委員	<p>この評価の方法を再検討しようとなったのは、何か市民からご意見があったのでしょうか。</p>
事務局	<p>特にそういったご意見はございません。ただ評価をまとめるにあたって大項目で</p>

	すとわかりにくい部分がありましたので、今回、委員会のほうで諮らせていただきました。
塚田委員長	市民病院の評価委員会について一番よくわかっているのは我々評価委員です。我々は第三者的に新小山市民病院を評価する重要な役割がある。この委員会は市民のためですので、市民にできるだけわかりやすく説明する必要がある。我々はわかっても市民の方が理解できなければ意味がないので、そういう意味では、中項目で評価するのがいいのではと思います。佐田先生が大項目でというご意見ですが、佐田先生も今まで評価してこられて、我々にとっては、現状の大項目のままでも非常にわかりやすいことは確かですが、市民に対しては中項目のほうの方がわかりやすいと思います。
岸野委員	作りやすく、市民の皆様にはわかりやすくということであればどちらでもいいと思います。公表いただいているのが資料2ですが、このような形よりは、以前資料でいただいたエクセルの表の資料であれば、わかりやすく見やすいのではないかと思います。
塚田委員長	中間評価で中身のボリュームを増やすよりも、視覚的に見やすく資料を提供したらいいのではという意見ですね。
事務局	他の団体について、参考にさせていただくと、西の方が進んでいる印象を受けました。市民に対して分かりやすくすることはこれからも続けていきたいと思いますが、全国的には大項目評価で行っている団体が多いようです。ただ、栃木県は中項目で評価しています。
塚田委員長	新小山市民病院はすごくいい成績ですので、もはや、独立行政法人のリーダー的存在になると思います。他の団体が見習うことになると思いますので、先ほど岸野委員がおっしゃったように視覚的に見やすい資料にするのも一つかと思えます。
渡邊委員	確かに、このようなエクセルの資料を有効活用するのがいいと思います。そうすると、中間評価での項目が活きてきます。
片山委員	評価については数値的なものを出していけばいいと思います。市民病院を応援する中身でやっていかなければいけないかと思えます。
岸野委員	何を出すか、どの部分を市民に示すかというところが非常に重要な部分で、市民の皆さんが知りたい内容を前に持ってくるというのがいいかと思えます。
塚田委員長	中項目にするか、大項目にするかは意見が分かれているところではありますが、今日の話の中で、共通しているのが、市民の皆様には分かりやすくという部分を念頭において、改善していただければと思います。資料の作成は事務局ですので、事務局主導で決められても問題ないかと思えますがいかがでしょうか。
渡邊委員	事務局のほうでわかりやすくまとめていただければいいと思います。
岸野委員	わかりやすさ、作りやすさ、見やすさを重視していただければと思います。
片山委員	事務局でわかりやすく案として作っていただき、それを検討させていただきたいと思えます。
塚田委員長	事務局はいかがですか。
事務局	事務局としては、中項目評価でやらせていただきたいと思っております。皆様のご意見を踏まえて、評価シートも利用しながら、一番わかりやすいのは議事録かと思えますので、改善できる部分は改善しながら、進めていきたいと思えます。
委員長	他にご意見はございませんでしょうか。それでは引き続き、事務局から説明を

	お願いします。
事務局	中項目評価にした場合、実施要領の改正が必要になります。まず資料4は、地方独立行政法人新小山市市民病院の中期目標期間見込み評価実施要領（中項目評価案）です。資料5は新旧対照表です。また、事業報告書の様式が定まっておりましたので、資料6と7で様式を定めようとするものです。説明は以上になります。
塚田委員長	ただいまの説明に対して何かご意見はございますか。
塚田委員長	それでは、その他についてもご承認をいただいたということで、他何かございますか。
事務局	それでは今後の予定についてご連絡させていただきます。令和元年度については、今回の第3回委員会で終了となります。令和2年度になりますと、今年と同様7月に年度評価をしていただき、その後、中期目標見込み評価をしていただきまして、8～9月に中期目標を市が作成し、12月議会に提出します。また、新小山市市民病院が中期計画を作成し、それについてもご検討をいただくので、全部で8回の委員会を予定しております。
塚田委員長	せっかくの機会ですので、坂田事務部長さんから何かございますか。
坂田事務部長	皆さんからご意見をいただいたように、市民のためにわかりやすい表現で、中項目でやっていくということだと思います。
塚田委員長	ありがとうございました。以上で議事を終了致します。お疲れ様でした。
事務局	皆様ありがとうございました。これを持ちまして、第3回新小山市市民病院評価委員会を終了致します。皆様、ありがとうございました。

以上